

い け だ

Ikeda



議会だより

3月定例会 No.148
平成25年5月1日

発行：岐阜県池田町議会

★3月定例会	2～3p
★質疑あれこれ	4～5p
★一般質問	6～9p
★きらり・合同研修・ 編集後記	10p



池田山フェスタ2013年4月6日

霞間ヶ溪公園護摩壇祈願祭

第1回 定例会

3月4日

3月27日

平成25年度予算可決

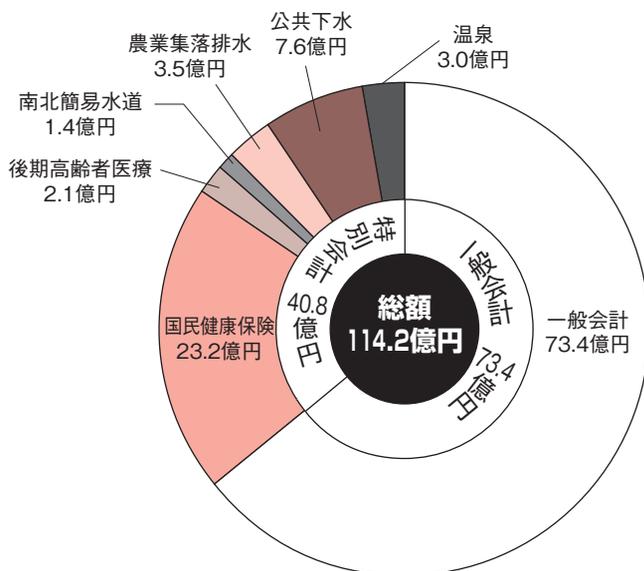
一般会計 73億4千万円 (前年当初比3%増)

特別会計 40億8千万円 (〃 1%減)

総額 114億2千万円 (前年当初比2.3%増)

百万円以下は四捨五入

平成25年度当初予算



今定例会(議会)の 主な内容

◎町長の25年度予算提案の説明

本年度の主な施策
 高校生等の医療費無料化支援対策
 医療機関誘致環境整備事業
 町道交差点改良 (上田、萩原地内)
 安定ヨウ素剤購入
 防災メール配信事業

◎24年度補正予算 可決

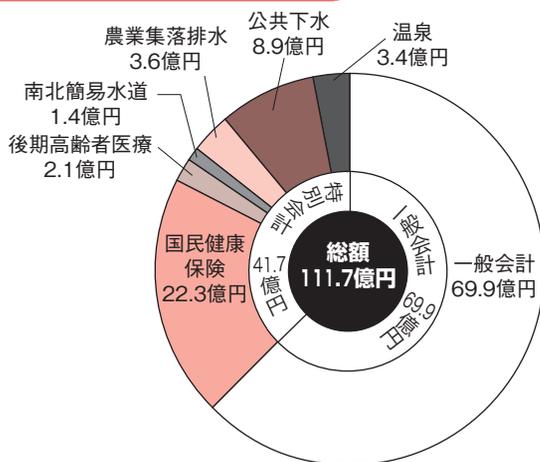
◎25年度予算 可決

◎25年度土地開発公社事業 可決

◎町道路線変更、認定 可決

◎インフルエンザ等対策本部条例 可決

平成24年度当初予算



百万円以下は四捨五入

第1回 臨時会

4月15日

医療機関誘致環境整備事業
 池野駅北整備事業造成工事請負契約締結
 契約相手 第一建設・総合特定建設工事
 共同企業体
 契約金額 48,300,000円

主な新規事業

●医療機関誘致環境設備	2億2,190万円
●高校生等医療費無料化支援	1,500万円
●交差点改良（上田、萩原地内）	1億1,719万円
●温知、宮地、池田小耐震実施設計	2,600万円
●池田山登山道大津谷ルート調査、測量	535万円
●国体1周年記念バドミントン日本リーグ招致	350万円
●ふれあい街道整備歩道設置	600万円
●コミュニティバス運行	2,725万円

池田町議会常任委員会等名簿

◎委員長 ○副委員長

名称	定数	氏名	就任月日
議長	1	岩谷真海	平成25.4.1
副議長	1	土川 博	//
監査委員	1	松岡正彦	//
総務建設産業委員会	10	◎松岡雅子○渡辺幸一 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 牧村範康 臼井幹夫	//
民生文教委員会	10	◎牧村範康○臼井幹夫 松岡雅子 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 渡辺幸一	//
議会運営委員会	5	◎遠藤和雄○渡辺幸一 松岡雅子 竹中芳弘 牧村範康	//
議会広報編集委員	4	◎竹中芳弘○臼井幹夫 坂口 博 渡辺幸一	//
池田町計画審議会委員	8	松岡雅子 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 坂口 博 土川 博 牧村範康	平成24.4.1（2年任期）
消防委員会委員	6	◎岩谷真海 松岡雅子 松岡正彦 遠藤和雄 竹中芳弘 土川 博	//
国保運営協議会委員	6	◎牧村範康○松岡雅子 竹中芳弘 坂口 博 臼井幹夫 渡辺幸一	平成25.4.1
池田町農業振興地域整備計画協議会委員	7	松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 土川 博 牧村範康 臼井幹夫	//
養基小学校養基保育所組合協議員	2	遠藤和雄 牧村範康	//
池田町有線放送電話農業協同組合理事	1	岩谷真海	平成24.4.1（3年任期）
池田町有線放送電話農業協同組合監事	1	遠藤和雄	//
土地開発公社理事	6	松岡雅子 松岡正彦 岩谷真海 遠藤和雄 竹中芳弘 土川 博	平成24.4.1（2年任期）
土地開発公社監事	1	牧村範康	//
揖斐広域連合協議員	4	岩谷真海 松岡正彦 遠藤和雄 竹中芳弘	平成24.4.1（2年任期） （議長平成25.4.1（1年任期））
西美濃さくら苑介護老人保健施設事務組合協議員	2	岩谷真海 牧村範康	平成25.4.1
道の駅池田温泉出店テナント審査会委員	6	◎岩谷真海○遠藤和雄 松岡雅子 松岡正彦 竹中芳弘 牧村範康	平成25.2.21～平成28.3.31

注…任期の記載がないものは1年任期とする

議長・副議長就任あいさつ



土川 博 副議長



岩谷真海 議長

町民の皆様におかれましては、ご健勝にお越しの事と拝察致しお慶び申し上げます。

この3月定例議会において、正副議長の重責を担う事となりました。もとより浅学非才の身ではありますが、町発展の為、住民福祉向上の為、町民各位、議員各位のご支援を頂き、誠心誠意その職責を務めたく存じますので、ご協力の程切にお願い申し上げます。

昨年はぎふ清流国体並にぎふ清流大会に代表される1年でありました。民泊協働会、民泊受け入れ家庭の皆様、関係者各位の絶大なるご協力ご支援を頂き、大成功に終了する事ができ、皆様には厚く御

礼を申し上げます。

また、今年度は東日本大震災より2年が経過し、その復興も進んでいないという実情がありますが、政権も交代し早期の復興と被災地の方々が1日も早く平常の生活にもどれます事、切に願うものであります。議会と致しましては、この震災を他人事として忘れ去る事なく教訓として生かし、町民の更なる安心で安全な町づくりを行っていかねばならないと意を強くするところであります。

また、議会と致しましては、今までその都度、必要に応じて議会改革を進めてきましたが、すべてを机上に上げ、計画的に町民にわかりやすい議会をめざして改革を進める年にと考えておりますのでよろしく申し上げます。

監査委員の選任同意



松岡正彦
監査委員

質疑 あれこれ

3月議会に上程された議案の中から主な
質疑を要約してお知らせします。

総務建設産業委員会

問 町営住宅管理条例のな
かで参酌基準の捉え方
は。

答 政令で定められていた
ものを参考に、地域の
実情に合わせて施行す
るもので、条例の内容
としては現状のままと

問 選挙備品購入費の内容
は。

答 現在6台の計数機を保
有しているが、今後と
もスムーズに開票事務
を行うため、高機能の
ものを2台購入し8台
とする。

したい。

問 池野駅北道路改良工事
の進行状況は。

答 当初、道路計画分のみ
公安委員会と協議した
が、開発区域全体を含
めての協議が必要と
なったため、一時工事
が中断、現在は再開、
用水路の施工は用水時
期に間に合わせた。

問 10月5・6日のふるさ
と祭りの内容は。

答 初日は餅まきや、公開
生放送、保育園児のよ
さこい踊り等。2日目
は、池田中学校の吹奏
楽や郷土芸能、三輪車
耐久レース等、実行委
員会と協議し決定した
い。

問 安定ヨウ素剤購入事業

問 の内容は。

答 町内満40歳未満の全住
民1万1千450人分
の必要量を備蓄するも
ので、甲状腺被曝を防
ぐため購入する。

問 道の駅整備の新年度事
業の内容は。

答 集客と動線を考慮する
なか、子供遊び広場、
外堀、パーゴラの設置



池野駅北の道路改良工事・用水路工事

及び駅長室新設工事。備品購入としては、屋外用テーブル、パラスルヒーター、パラスルクーラー、足湯のれん、夏祭提灯等。

問 公共下水道について、北部処理区の方針は。

答 平成25年度中に、第4次認可区域を決定するなか、高度処理浄化槽について、方針を決定していきたい。

民生文教委員会

問 池田町福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する内容は。

答 対象年齢を満15歳から

満18歳に達する日以降における最初の3月31日以前の者としたことにより児童生徒等となった。

問 池田町新型インフルエンザ等対策本部の組織体勢は。

答 副町長が本部長となり関係部署の職員が本部長となり、必要に応じて有識者の意見を求めることができる。

問 ワールドウォーキングチャレンジ事業費の減額理由は。

答 国体が開催されたこと等により事業の一部を実施出来なかったことによる。

問 緊急通報装置設置事業

の内容は。

答 75歳以上の独居高齢者などの方に、有線放送電話回線を使用して消防署に通報する装置を設置するもので現存80名の方に利用頂いており、主に民生委員を通じて申し出て頂き対応している。

問 自殺予防対策の内容は。

答 国を上げて取り組みされているが、町としては初めて取り組む事業であり、リーフレットの作成や保健師が家庭訪問するなど各種の方法を検討していきたい。

問 第2リサイクルセンターの進捗状況は。

答 現在も検討中で平成25年度中には候補地を決定したい。

問 公害発生源測定の内容は。

答 振動や騒音の測定をするものでP M 2・5に

ついては県内の11箇所、測定され岐阜県のホームページで公表されている。



土間コンクリートができ、仮枠の建込みが始まった八幡小学校改築工事



岩谷真海 議員

25年度当初予算の特色を問う

まず、前定例会一般質問「18歳以下医療費無料化」を早速予算化して頂き御礼申し上げます。さて、25年度当初予算の特色は何か。

町長

町民の安全・安心を第一に進める、必ずやる実行予算とした。安心部分で、池野駅北の医療ゾーン整備と駅駐車場の確保、池野・杉野線交差点改良、防災メール配信、安定ヨウ素剤の備蓄、踏み台付きコミュニティバスを一台増やしお年寄りの利便性をはかる等。子育て支援では、18歳以下医療無料化。安全部分では、教育環境、特に耐震補強を前倒しで進める。観光部分では、西美濃夢源回廊を進める。その実行予算である。

町人口増と定住化の施策を問う

町長

町の人口増を前提で5次総合計画を策定した。今年は人口減となり、更なる定住化の施策が必要と考える。特に施策の遅れている東地区の開発、定住化の方策が必要ではないか。

町長

全国的に人口の減少化が進んでいる。当町は企業の海外進出等の影響で多少の減となっている。施策として、学童保育、病児・病後児保育等の子育て支援、企業誘致も順調で人口が増加してきた。今後も企業誘致等はもちろんの事、18歳以下医療費無料化、医療モールの充実、養老鉄道

の継続、コミュニティバスの確保等住民福祉の向上につとめ、子供を安心して生み、育てられる地域づくり、住んで良かったと思う町づくりの施策を行っていく。東地区については東幹線西側歩道も継続的に進め、農地転用も緩和して住宅や企業の誘致も進めたい。

町民の安全で安心のまちづくりを問う

町長

防災・減災という観点で、地域の見守り隊の強化、自主防災組織の実用化、災害マニュアル等の見直しが必要ではないか。

町長

個人情報保護法の制約の中で、要支援の人の支援、救助ができるよう社会福祉協議会、各団体と連携し、台帳等のデータ化を行う。自主防災組織については、備蓄も含め、

代表の方と連携、協力し、指導にもつとめて行きたい。また、法の範囲内で、情報は公開し、提供できるようにしたい。

体罰について

～地域の宝を守るために～



牧村範康 議員

全国で体罰の問題が表面化しているが、池田町の少年団や部活動における体罰の状況をどのように認識しているのか。また、体罰と熱意ある指導の境目はどこにあると考えるのか。

教育長

昨年6月に町内小学校において体罰があり、加害職員には嚴重注意の指導処分を行った。被害児童・保護者へ家庭訪問し説明及び謝罪した。現在、実態把握調査を行った結果、新たな事案はないが、体罰禁止の徹底を一層図っていく。また、熱意の延長として子供へ叱責や罰を与えることは時には必要であるが、子供の尊厳を著しく傷つける言動や肉体的苦痛を与える懲戒は決して許されないと考える。

教育基本法11条前段にある、「懲戒」についての見解及び現在の教職員の聖職的意識とコミュニケーション能力の現状認識と対策をどう考えるか。

教育長

放課後の居残り、授業中の



熱心に指導する指導者

起立、学習課題や清掃活動などの懲戒の具体例があり、肉体的苦痛を与えない限り体罰にはあたらなないと認識のもと、現場では必要に応じて懲戒を与えている。また、教師には思いを伝える力や子供の心を読み取る力が求められる。従って、学級経営力や生徒指導力を高める研修を現場の学校内で行っていくことが大切であると考える。町の教育センター内の資質を高める部会を十分機能させたい。

幅広い教養と人間力豊かな先生によって、体罰の根絶とともに地域の宝を育てていきたい。また、教師不足を補完する意味でも私立中学（中高一貫）校の誘致も視野にいれた地域教育の改善に取り組んで欲しい。

ホスピスについて

施設誘致と在宅ケア窓口を

在宅ホスピスや相談窓口の設置についての考えはどうか。

町長

在宅ホスピスは家族の問題や巡回訪問等の問題もあるので、今後、多方面から検討していく。また、相談窓口は保健センターや高齢福祉課が担当になると思うが、専門の関係機関と連携調整を図っていくか検討していきたい。

自らの意思と選択に基づいて、主体的に最期の時までを快適に生き、安らかな尊厳に満ちたターミナルケアを行えるホスピスの施設は、県下5箇所あるが西濃県域にはない。福祉の町、健康文化都市を掲げる池田町は、自然豊かで日本一の池田温泉を有する風光明媚な好立地である。是非、池田山麓にホスピス施設の誘致を考えて欲しいが。

町長

池田町はホスピスには最適地であると考えている。過去にも山麓でと相談はあったが下水の問題や費用の問題等で断念された。人の手配や費用や設置条件の問題もあり今後の検討課題と考える。



ホスピス施設誘致に最適な池田山麓



松岡正彦 議員

大谷川を桜並木に！

大谷川にも桜を植えて西美濃夢源回廊を盛り上げる。草深地区の桜ヶ丘団地の南の大谷川に桜を植えると、きれいに咲くわけですが、地元からの希望でその桜を何とか、ふれあい街道まで延長してはどうか。大谷橋からもう少し上流に植えて夢源回廊を立派に盛り上げてはどうか。又南は道の駅、池田温泉、霞間ヶ溪、北へは大津谷、そして大谷川の桜並木にして池田山を磨く。桜ヶ丘団地の南は結構広く植っておりますが、上下流部は割り方谷が狭く、地元の方と相談して植えていただければよいかと思いません。近くにある小寺の町有地も公園にしてはどうか。

町長

霞間ヶ溪については昭和三年に指定をされて、今日まで来ており非常に古木化して補

植をしながら来ており、まだまだ十分保っています。その間大津谷のほうへ下流から上流に向けて植えて、10年15年過ぎて今一番盛んになっている。大谷については桜ヶ丘団地から草深公民館の南に二本植えてあります。そこから西へ行きますと、道路があったり茶畑があったり畑や山林があつて狭い状況です。又宮地小学校で今種から育てておりますので、苗を提供していただくことや、鹿とか野生動物に食べられる可能性もあるので、維持管理など地元の協力を



大谷川を桜並木に！

が必要です。小寺の町有地については今、別の考え方があるので十分調整をしながらやっていきたい。又道の駅南側の金地谷

へも桜を植えて、城ヶ谷の部分も桜で埋めて桜の名所にした。

消えかけた白線を引き直す

町道の十字路、T字路にも一度白線を引いてはどうか。交通安全に役立つようだが。

町長

全てのところを引く事は難しい部分もあるが、警察の指導や地元の皆様方と十分現地を踏査して進めていきたい。池田町から一件でも交通事故故がないように皆さんが安全に通行できるように対策をとっていききたい。



消えかけている白線

池田小学校の耐震及び改修計画について



渡辺幸一 議員

耐震化については、25年度にて設計が実施されるが、校舎内部（特に便所）についても耐震補強と同時に改修を計画するべきではないか。

町長

耐震補強工事については、26年度には実施したい。改修工事については、早急に便所



耐震化に合わせて他の箇所も洋風便器設置を！

の洋式化に向けた調査設計をし、何らかの手当ではしたい。他の部分でも校内放送設備、床のカーペット、インターホンなど改修の必要箇所を調査する。又、屋根の防水については、順次実施しているが、ソーラーを設置する事も考慮しながら、検討する。

東川の改修について

杭瀬川合流点まで流れる東川、その始点である上田地区の改修未整備区間について防災の観点からも、県に対し改修促進の要望をしていただきたい。

町長

河川の改修は原則下流からなので、町としては東川、杭瀬川の合流点を含めた対策を考えている。まず杭瀬川の改修を県に強く要望している。今の計画では、現状の河川断面で真ん中に河道を掘削し河床を下げる計画である。今年度、赤坂大橋から下流700m実施24、25年にて完成予定である。今後、市橋地内の合流点までの工事を5年



東川源流の状況

をめどに実施してもらおうように県に強く要望している。町としては、杭瀬川の河道掘削を早く実施してもらい合わせて東川の部分も県に対し要望していく。



オランダ、アムステルダムで行われた第16回ファン・ワセナール国際古楽コンクールで第1位の池田町出身のピアニスト小川加恵さんを紹介します。



プロフィール

池田町田中出身で養基小学校・池田中学校・大垣北高校を卒業後東京芸術大学古楽科修士課程フォルテピアノ専攻修了。

今までの活動内容

ヨーロッパの主要な古楽音楽祭への招聘も多く、主にオランダを中心に活動、ユトレヒト古楽音楽祭、バルセロナ古楽音楽祭、ヨーク古楽音楽祭など、古楽音楽祭に出演し各地で高い評価を受けている。

今後の活動

地元池田町の文化・芸術・教育に、アンサンブル奏者として精力的に活動を広げながら、地域の皆様にもクラシック音楽の素晴らしさを身近に感じて頂けるような機会を積極的に作ろうと、地元の小中学校での音楽教育プログラムや地元の皆様との交流の場を作り、愛する池田町の為にガンバリたいと思っています。



平成25年10月5日谷汲山華厳寺にてコンサート開催



池田町・神戸町議会議員合同研修会

池田町・神戸町
議会議員合同研修会

2月21日 神戸町役場で両町議員合同研修会を開催した。講師に自衛隊岐阜地方協力本部長、一等空佐、伊東修氏を招き「周辺海空域の安全確保について」講演を聞き、任務の内容等について、興味深い話を聞きました。

編集後記

失われた20年と呼ばれ、日本経済が大きく落ちこんだ中で、今、アベノミクスのデフレ脱却とインフレ目標2%が注目されています。広く社会に雇用が回復して賃金が上がれば社会は大きく変わるでしょう。

一方人口減少化が社会問題になっている。現在県民4人に1人の65歳以上の、高齢者が平成40年には3人に1人となる見通しです。

池田町は33・4%まで進むと推計されます。その中で10月開院をめざして医療機関の誘致が決まりました。又念願の18歳までの医療費無料化が実現し、町民の足として重宝されているコミュニティバス一台が増車されるなど、町民サービス向上と、発展の元となる事業が決まりました。さらに皆様と共に安心できる町づくりにつとめてまいります。



(委員長 竹中芳弘)

左から渡辺、臼井、竹中、坂口